

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岡町南PJ 新築工事	階数	地上4F
建設地	豊中市岡町南1丁目10,19-1,19-2,23	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年8月25日
敷地面積	2,402㎡	作成者	積水ハウス㈱大阪特権支店 森聡
建築面積	1,069㎡	確認日	2016年8月31日
延床面積	3,347㎡	確認者	積水ハウス㈱大阪特権支店 植田泰平



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 高効率な設備機器の導入、節制器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。 また、外構緑化を積極的にを行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上に配慮している。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 居室にはカーテンを設置し、庇と合わせてグレアを制御している。 小規模な作業範囲での照明制御を可能としている。	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりある広さとし、機能性・使いやすさの向上に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の樹木を保存する等し、周辺の建物と調和を図った計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 高効率な設備機器の採用し、エネルギー消費量を抑えている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 高効率な設備機器の採用によりCO <sub>2</sub> を抑制している。 駐車場・駐輪場を確保し、交通渋滞緩和に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0112

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)岡町南PJ 新築工事					
		建設地	豊中市岡町南1丁目10,19-1,19-2,23-1,22					
		用途/区分	病院					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>		
	CO2削減					<b>3</b>		
	省エネ対策					<b>3</b>		
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>3</b>		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>						<b>報告しない</b>		
<b>【評価項目】</b>								
<b>省エネルギー対策</b>		<b>① CO2削減</b>						
		<b>② 省エネ対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				<b>3.3</b>	<b>3</b>	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	<b>4.0</b>	<b>3</b>		
				住戸・宿泊	<b>4.0</b>			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					<b>4.0</b>	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					<b>3.0</b>	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					<b>4.0</b>	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					<b>3.0</b>	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					<b>3.0</b>	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
<b>みどり ヒートアイランド対策</b>		<b>③ みどり・ヒートアイランド対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				<b>3.0</b>	<b>3</b>	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								